10月定例記者会見 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

１０月も残すところあと僅かとなり、朝夕の空気には肌寒さが感じられるようになってまいりました。

秋の深まりとともに、取手市では「文化・芸術の秋」を感じられる催しが各所で展開されております。

すでに「取手市藤代文化祭」と「第57回取手市民美術展」を開催しているほか、明日３１日土曜日からは「取手市文化祭」が始まります。

さらに、１１月１５日には「サイクルアートフェスティバル2026」、同時開催の「消防フェスタ」、１１月１９日からは「JamJam展2026」、１１月２１日、２２日には東京藝術大学での「取手藝祭2026」など、「アートのまち・取手」に相応しい、文化・芸術を楽しんでいただける催しが続きます。

皆さまには、ぜひこの機会に市内各所で展開される多彩な文化・芸術活動に触れていただき、取手市の魅力を一層感じていただければ幸いでございます。

また、１１月８日日曜日に、取手市民会館で「ＮＨＫのど自慢」が放送の予定となっております。

出場の申込、観覧の申込ともに、たいへん多くの皆さま

からお申込みいただいたと聞いております。
ぜひ、皆さまにおかれましては、１１月８日の放送をご覧いただければ幸いです。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「令和７年度取手市長賞受賞者による記念演奏会」についてです。
市では、東京藝術大学の音楽分野の卒業・修了予定者のうち、優秀な成績を収めた方に取手市長賞を授与しております。
今回は、令和７年度に受賞したお二人の記念の演奏会を、１２月１２日 土曜日、取手市民会館で開催いたします。
令和７年度取手市長賞受賞者は、チェンバロの前川陽香（まえかわはるか）さんと、コントラバスの桑原孝太朗（くわばらこうたろう）さんのお二人でございます。
ぜひ多くの方々に足を運んでいただき、お二人の素晴らしい演奏をご堪能いただければと思います。

次に、「地域とともに学び、未来を描く ～認知症・地域福祉学習を通して未来を担う児童を育成～」についてです。
取手市立高井小学校では、認知症や地域福祉を通して、人と人とのつながりや支え合いの大切さを学ぶ機会とし

て、６年生を対象とした福祉に関する出前授業を実施いたします。

地域包括支援センター「さらの杜」の職員を講師に迎え、ケアマネージャーやヘルパー、福祉用具などのブースを児童が回って、実際に福祉の仕事について学びます。

６年生の児童には、地域を支える仕組みや働く人々の思いに触れながら、将来の生き方や社会との関わり方について主体的に学びを深めてもらうとともに、将来の進路や職業観、さらには持続可能な社会づくりについて、考えを育む契機となることを期待しております。

次に、「教科書を飛び出す本物の学び　～茨城トヨペットと連携した特別授業～」についてです。

同じく取手市立高井小学校において、５年生を対象とした、社会における自動車の役割や未来のモビリティについて考える特別授業を行います。

この授業では、茨城トヨペットの方を講師に招き、実際の車両を使った先進自動車の体験やスポーツカーのエンジン音の体感、Ｃ+walk（シーウォーク）の試乗などを児童に経験してもらい、自動車の歴史や技術の進歩、環境に配慮した次世代の自動車について理解を深めてもらいます。

５年生の児童には、教科書だけでは学ぶことのできない体験活動を通して、自動車の仕組みや魅力に触れ、未来の

社会や環境について、自分事として考えるきっかけになればと考えております。

以上で、私からの説明は終わります。